

町のうき 広報

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135
編集・企画室 印刷・一日市印刷所 TEL(一日市)38

町 <u>のうき</u>	
本籍数	4,161
本籍人口	14,262
世帯数	2,837
住民登録人口	13,320
内 男女	6,599 6,721
6月1日現在	

今年度の主な事業と所感

天王町長 藤原慶三郎



町民の皆さん、ごきげんいかがですか。

農家の皆さんには田植えも終わり、一安心というところと思えます。本年は四、五月の異常天候により、水不足や冷害型気象など不安定な要素をおびている心配され、前途に菜観を許さぬ感を深くいたしました。現在にはほぼ順調であり、農家各位共々今後の好天を祈り、昨年以上の大豊作を心から願っています。

町民各位にはすでにご承知のことと存じますが、本年度の主な事業をお知らせしたいと思います。

その前に、県広報協会が発行している「あきた」の六月号に「私の抱負」と題する原稿が掲載されましたので、参考までに全文を紹介いたします。

「愛する郷土天王町は、秋田市と男鹿市との間に位置する都市近郊の農村で、将来無限に発展する可能性を秘める人口一万三千の夢多き躍進の町であります。

限られた字数の範囲で、多くを語ることは容易でなく、また名言、名句の政策をもつ

ても、現在の限られた地方財政の下で生きている政治の実態を考慮するとき、その建設がいかに困難であり、その対策がいかに幼稚であるかを痛切に感じられます。

農業問題にしても、現在は米、たばこ以外のアルファ農業は流通機構対策の不備から常に流動的、不安定であり、確信をもって農家各位には進められないのです。

いかにすれば農家の所得を向上させ、年々納入される血税をむだにすることなく、町民本位の親切な行政を行なうて町民にサービスできるかを職員共々真剣に考えております。

財政の投下によって解決できる道路施設、学校建設等は乏しい財源でも計画的に実行するときは、ある程度可能であります。財政投下のみで解決できない、人づくりは大きな悩みであり、これこそ最も大切な点であると考え、社会教育の充実によりぜひこの実現をはかるべく意欲的に取り組んでおります。

要は天王町の歴史は天王町民の歴史であります。流れ去る歴史の一コマを受けつぎ、郷土発展の大悲願を胸に秘める首長の一人として、常に自らのエリを正し、町民本位の立場に立ち、責任ある言動をとって住民の納得のゆく明る後世の範となる清潔な政治を

行ないたい。これが私の抱負であります。

以上のことでもよくおわかりと存じますが、常に町民本位の行政を行ない、「正しいことは正しい。悪いことは悪い」とその正邪の判断を誤らぬことを基本として行政を施行いたす考えです。

さて、今年度の主な事業ですが、七月下旬ごろから(ただし議会の承認を要します)①中央公民館の建設(一〇九八・四四四平方メートル(約三三二坪)約四千万円)②町民ホールの体育館の建設(六一二・三六平方メートル(約一八六坪)約千七百五十万円)③ゴミ焼却の建設(約千六百万円)④天王・塩口間の約千メートルの舗装(約千一百万円)の計画を進めております。

財源は繰越金、補助金、起債等を充当しますが、四十二年度の納税成績は町民各位のご協力ご理解はもちろんのこと、各納税組合、町職員のご努力によりかつて実現できなかった町民税四十二年度現年課税分九十九・六パーセント(滞納繰越を含めた収納率は九十七・〇パーセント)、国民健康保険税四十二年現年課税分九六・一三パーセント(滞納繰越を含めた収納率は九〇・一パーセント)の好成績をあげ、財政の基礎を確立し、事業遂行の原動力となっておることは誠に喜ばしく、今後一段の努力をいたし、百パーセント完納の実をあげたい所存であります。

また、特筆大書したいことはこの広報が皆さんのお手もとにわたるころは「塩口一羽立間二千メートル」の町道(農免道路による)舗装が完成しておることと存じます。この実現には、県、農林省等関係各位のご尽力はもちろんのこと、議会、町民共々一致団結して努力した結晶のたまものであると深く感謝申し上げます。

この農免道路の舗装は難事中の難業であり、東北六県で本町が唯一の許可を得た町であります。最後の英断をふるって下さいました農林省小林補佐のご好意は小生終生忘れ得ぬものがあり、何をしてもご恩返しをすべからず、ただただ心から感謝申し上げると共に、残された「羽立」大崎間二千六百メートルの舗装の実現につきましても、なおいっそうのご支援をお願い申し上げます。

最後に参議院選挙の当日(七月七日)は本町の大方の地区が祭典であります。本町は前回の参議院地方区補欠選挙では全県最下位の成績でありましたので、今回町民各位のご協力、ごふりやうと、ぜひこの汚名をはらふにしたいと思っております。

税金の徴収率や選挙の投票率等は他町村と比較され、町行政の運営にも間接的に影響がありますので、ぜひ午前中に投票を終え、午後は楽しいお祭りをお過ごし下さるようお願い申し上げます。

町民各位のご協力、ご理解によって町勢も日一日と進展し、平和な明るい町になりつつあります。今後いっそう町民のご期待にそうべく努力をいたす覚悟です。

そろそろ梅雨の季節となりますが、ご健康にはくれぐれもご留意ください。楽しい生活を送りくださるよう心からお願い申し上げます。

参議院議員通常選挙

投票日 ⇒ 7月7日

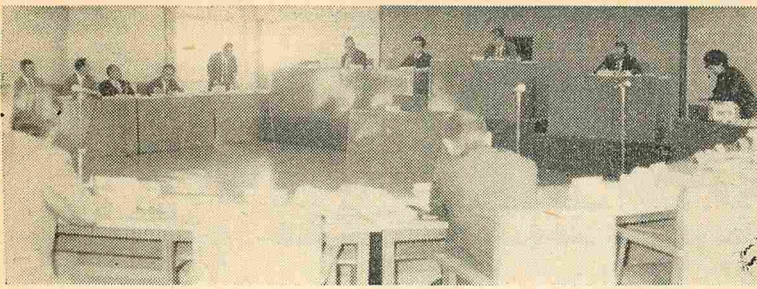
投票は午前中にすませましょう

六月定例町議会終わる

一般計 499万円を追加

六月定例議会は六月七日に開会され、会期七日、八日の二日間としたあと、町長報告、一般質問が行なわれた。続いて上程された一般会計補正予算案、町税条例の一部改正案、国保条例の一部改正案、へき地保育所設置条例の一部改正案など十一案件を審議、原案通り可決して、会期を一日残して閉会した。

- 可決された四十三年度一般会計補正予算は、歳入、歳出にそれぞれ四百九十九万円を追加
六月定例町議会
し、予算総額は億九千九百五十万一千円となった。
おもなものは次のとおり
▽中央公民館建設敷地整地工事費 六十六万八千円
▽校舎修繕費 五十五万七千七百円
▽長沼、追分二号線用地購入費 三十七万七千六百六十円
▽沖田用水路改修工事費補助金 二十二万一千円
▽自転車置場設置費(天王、出戸浜駅) 三十七万五千円
▽青少年問題協議会補助金 四十万円
▽出戸浜海水浴場駐車場拡張費 二十五万五千円



- 養鶏経営調査の結果
昨年からの継続事業として鶏の経営調査をしました。その結果は次のとおりでした。
採卵養鶏経営(常時飼養羽数一千三百五十羽)
【収入】▽鶏卵総売代金 三百五十六万八千九百九十二円。
▽廃鶏販売代金 五十一万一千八百一十円
▽その他(袋代など) 一万一千円
▽その他 八万四千四百四十二円
【支出】▽成鶏費(飼料代) 二百六十一万五千二百二十円
▽衛生光熱費 九万五千円
▽育すう費(ヒナ代、飼料代) 七十七万二千八百六十六円
▽建物器具償却費 十一万四千八百四十四円
▽計 三百七十一万九千三百七十六円
【粗収入】 五十一万七千五百六十六円
【講評】 一年一羽当たりの収

7月の「心配ごと相談室」
七月の「心配ごと相談室」は一日、八日、十五日、二十二日、二十九日に開かれます。心配ごと、悩みごとのある人は気軽に役場の町民室においでください。時間は午前十時から午後三時までです。

7月の農作業のポイント
水稲の生育も後期の時期は、いわば多収のため稲に力をつける、秋のみのりのための蓄積を行なう時期に当たります。必要な分けつを確保し形成を完分にさせるとともにムダな生育をおさえなければなりません。
なお七月は各種の災害の受けやすい時期です。事前に圃場条件、防除体制を整備し、天気予報、異状急報病害虫予察情報に注意し、早急な対応処置のとられるようにしておくことが必要です。

穂肥の施用
出穂前三十二〜三十日ころ(穂首分化期)の追肥はモミ数の増加には有効となりますが、無効茎の増加、倒伏の増加は稔実の不良を招きやすいので稲の生育を見ながら行うこと、出穂前二十五日頃(幼穂形成期、幼穂長二ミリの)追肥は従来からの穂肥として行なわれてきたものでモミ数の確保上有効ですが、モミ数が確保されている稲や生育量の多い稲は穂首の分化期の追肥ほどではないが場合によっては危険があります。
出穂前十五日頃(減数分裂期)の追肥はモミ数の退化を防ぎ

病害虫防除
七月月上旬中旬は、葉イモチ病発生の危険性が大きいので、初期発生を発見したと、初期防除を徹底することが大切です。
発生をみなくとも予防の意味で、この時期の薬剤散布は大切であります。病害虫の防除は防除面積を広げるほど効果が高まるので、共同防除をすることが大切です。
なお、最近モンガレ病の発生がめだち、イモチ病につき重要な病害になっております。その割には防除が徹底していないのでイモチ病の防除対策と同様に七月中旬下旬にかけてモンガレ病の一斉防除をする必要があります。モンガレ病の発病は田圃では越冬してきた菌核から超えるものです。この菌核は前年に発病した稲の上につくられ、田面に落ちて越冬するので前年に発病した田圃では翌年は確実に発生して前年より多くなるのが普通であります。
モンガレ病防除のコツは、薬剤を株元まで良く散布することと、畦畔ぎわの防除を充分にすることです。
防除用薬剤
○イモチ病の場合はカスミン乳剤千倍液百リットル散布、粉剤三キログラム。
○モンガレ病の場合はネオアソゲニ乳剤二千倍液百五十リットル散布、粉剤三キログラム。
本剤の防除効果は大きく普通適期に一回散布すれば充分であるが、穂ばらみ後期以後の散布は葉害を生ずることがあります。穂ばらみ後期の散布はポリオキシ乳剤は六千倍液、粉剤三〜四キログラム散布。本剤の効き方はあまりに葉害はありません。

商工会 珠算 検定合格者
去る六月二十日、天王中で行なわれた商工会主催の珠算検定試験の合格者は次のとおり。
【三級】▽天王中 鈴木初美、柏森まち子、伊藤秀子。▽出戸小 山口正樹。
【四級】▽天王中 安田衣里子、佐々木通子。▽天王小 佐藤恵。
【五級】▽天王中 佐藤恵、三浦正彦、三浦則子、鈴木恵子。▽天王小 加賀谷須美子、佐藤忍。
【六級】▽天王中 桜庭洋子、渋谷愛子。▽大崎部落 三浦正モミ数の確保、また粒重増にも効果が有り倒伏には安全とされるが異状低温に遭遇すると障害不稔を増長する危険があります。
これらは水稲の生育段階からみただけでは外部からの生育段階の判定、幼穂の発育程度の適確な診断は困難で稲によって追肥の時期がことなりますので、葉令指数による生育状況とを見合わせて追肥をきめること、イモチ病、倒伏には充分注意が必要であります。
七月月上旬中旬は、葉イモチ病発生の危険性が大きいので、初期発生を発見したと、初期防除を徹底することが大切です。
発生をみなくとも予防の意味で、この時期の薬剤散布は大切であります。病害虫の防除は防除面積を広げるほど効果が高まるので、共同防除をすることが大切です。
なお、最近モンガレ病の発生がめだち、イモチ病につき重要な病害になっております。その割には防除が徹底していないのでイモチ病の防除対策と同様に七月中旬下旬にかけてモンガレ病の一斉防除をする必要があります。モンガレ病の発病は田圃では越冬してきた菌核から超えるものです。この菌核は前年に発病した稲の上につくられ、田面に落ちて越冬するので前年に発病した田圃では翌年は確実に発生して前年より多くなるのが普通であります。
モンガレ病防除のコツは、薬剤を株元まで良く散布することと、畦畔ぎわの防除を充分にすることです。
防除用薬剤
○イモチ病の場合はカスミン乳剤千倍液百リットル散布、粉剤三キログラム。
○モンガレ病の場合はネオアソゲニ乳剤二千倍液百五十リットル散布、粉剤三キログラム。
本剤の防除効果は大きく普通適期に一回散布すれば充分であるが、穂ばらみ後期以後の散布は葉害を生ずることがあります。穂ばらみ後期の散布はポリオキシ乳剤は六千倍液、粉剤三〜四キログラム散布。本剤の効き方はあまりに葉害はありません。

【七級】▽天王中 鈴木昌子、沢川恵子。▽天王小 三浦由寿大貫専有、加賀谷由美子。▽出戸小 佐々木正美、佐々木稔、菊地節子、菅原葉子、加賀谷哲美、菊地良栄、鈴木孝、佐々木寿人。
【八級】▽大崎 三浦光夫、三浦由美子、竹野律子、三浦吉信、三浦孝司。▽追分小 船木経子、館岡明子、斎藤京子、成田るみ子、貝田融、佐々木和良、小野玲子、進藤千江美、栗山隆昌。▽出戸小 佐々木克幸、菊地則男、下田典子、安田重子。
注 なお、次回の第20回商工会珠算検定試験は昭和四十三年十一月一日(日曜日)おこなわれます。

彦、三浦幸子、鈴木恵子、草階俊彦、伽羅谷若雄、三浦孝範。
▽出戸小 佐々木昌志、古山義隆、高橋則子、菅原京子、青山和歌子、京谷美由紀。
【七級】▽天王中 鈴木昌子、沢川恵子。▽天王小 三浦由寿大貫専有、加賀谷由美子。▽出戸小 佐々木正美、佐々木稔、菊地節子、菅原葉子、加賀谷哲美、菊地良栄、鈴木孝、佐々木寿人。
【八級】▽大崎 三浦光夫、三浦由美子、竹野律子、三浦吉信、三浦孝司。▽追分小 船木経子、館岡明子、斎藤京子、成田るみ子、貝田融、佐々木和良、小野玲子、進藤千江美、栗山隆昌。▽出戸小 佐々木克幸、菊地則男、下田典子、安田重子。
注 なお、次回の第20回商工会珠算検定試験は昭和四十三年十一月一日(日曜日)おこなわれます。

に発病した田圃では翌年は確実に発生して前年より多くなるのが普通であります。
モンガレ病防除のコツは、薬剤を株元まで良く散布することと、畦畔ぎわの防除を充分にすることです。
防除用薬剤
○イモチ病の場合はカスミン乳剤千倍液百リットル散布、粉剤三キログラム。
○モンガレ病の場合はネオアソゲニ乳剤二千倍液百五十リットル散布、粉剤三キログラム。
本剤の防除効果は大きく普通適期に一回散布すれば充分であるが、穂ばらみ後期以後の散布は葉害を生ずることがあります。穂ばらみ後期の散布はポリオキシ乳剤は六千倍液、粉剤三〜四キログラム散布。本剤の効き方はあまりに葉害はありません。

十日に浜開き

―出戸浜海水浴場―

七月の声をきくと急に海が恋しくなってくるが、出戸浜海水浴場では昨年より二日おそい七月十日(水曜日)に浜開きをす

海上安全祈願祭で幕をあげ、八月末まで二ヶ月近くカッパ天国となる。

海の家も年々整備され、涼しさを求めるお客さんには最適なこの場所と組合では盛んにPR。浜開きを目前にして、いまその準備に大わらわだ。

また、車で来る人も年々多くなっているが、町ではことしも

期間中の行事

- 7日 浜開き、海上安全祈願祭
- 14日 砂の芸術
- 21日 闘犬会
- 28日 宝さがし
- ◆八月
- 4日 宝さがし
- 11日 海陸リレー大会
- 25日 すいか祭

国民健康保険のしおり

国民健康保険に限らず、保険制度はお互に出し合ったお金で運営され、相互扶助によって負担がかかるしくみになって

います。したがって一定の保険税を納めなければなりません。保険税は国保事業で必要な経費を計算し、総額を保険税とそれに国からの補助金等でまかなわれます。

保険税は被保険者の所得割、資産割、均等割(一人当り)平等割(一世帯当り)で算出され

昭和43年保険税率

所得割	課税総所得金額の100分の2.2
資産割	固定資産(償却資産)の100分の11.4
均等割	被保険者一人につき794円
平等割	一世帯につき1,600円

駐車場を拡張。組合では「駐車場の完備している出戸浜へ」とマイカー族の受け入れにも余念がない。

申し立ては早目に

昭和四十二年の納税についてはみなさんの理解あるご協力により、一般税の徴収率は九十九・六〇パーセントの良好成績をあげました。

今年こそは納税「百パーセント」達成を合言葉を以て、町では町長を始め、関係職員一同頑張っておりますが、納税総務者であるみなさんの理解と意欲あるご協力がなくては達成できません。

町民税、国民健康保険税の納税通知書がみなさんのお手もとに届きましたら定められた期限内に納税してください。

また、税金について納得のいかない点がありましたら、次の点を留意のうえ、異議の申し立て

ますが、この割合は町議会で議決されます。昭和四十三年度の保険税は次のとおり議決されました。

てを税務課の窓口へしてください。異議の申し立ては、納税通知書があなたに届いた日の翌日から起算して三十日以内に行ってください。

要求米価貫徹パレード

町農協米価対策本部(本部長佐々木幸蔵、農協組合長)は六月十八日、農協青年部が主体となって、耕うん機二十一台、バイク十七台、自動車九台参加のもとに「要求米価貫徹パレード」を行なった。ことしは一俵(六十キログラム)当たり九千

昭和43年度国保事業歳入科目別世帯当り、被保険者一人当りの額

科目	当算	初額	収入割合	1世帯	被保険者一人	者り
歳入	千円	千円		円	円	円
国民健康保険税	18,509	25.66	9,973	2,121		
国からの補助金	49,139	68.12	26,476	5,632		
その他の収入	4,487	6.22	2,418	514		
計	72,135	100.00	38,867	8,267		

国民健康保険税の納期が変更

- 第一期 七月一日から同月三十一日まで。
- 第二期 八月一日から同月三十一日まで。
- 第三期 十月一日から同月三十一日まで。
- 第四期 十一月一日から同月三十一日まで。

口頭での異議申し立てをするときは④あなたの住所、氏名、年令と世帯番号⑤申し立てする課税の内容のあなたに納税通知書が配布された年月日をお話ししてください。

老人福祉大会

町老人クラブでは老人福祉大会を去る六月二十三日、天王小体育館で開いた。

当日は三百五十名の老人が出席し、町長はじめ来賓からお祝いの言葉がおくられたあと、四十二年度事業実施報告、決算報告し、今年度の事業計画、予算などを決めた。

会終了後、素人芸能に移り、タイコを打つ人、笛を吹く人、

健康管理

育児(その二)

赤ちゃんに離乳食を

母乳またはミルクで順調に育ってきた赤ちゃんも、生後四〜五ヶ月になると体重が六キログラム以上になります。そこで、乳だけでは発育に必要な栄養が不足しますので、離乳食をあたえなければなりません。

離乳期から幼児期にかけては「からだやちえ」の発育が最も盛んなときですからおそれることなくすすめてください。

ただし、乳以外のものにはなれておりませんから離乳の準備として、消化のよい口あたりのなめらかな、しかも味のうすいもの、つまり、乳に近いような

踊る人、歌う人など和気あいあいのうちに一日を過ごした。

二田新町に自治会

二田新町では、地域民の強い要望にともない、このほど桜庭三郎宅において総会を開き、二田新町自治会をつくった。

自治会の趣旨は、地域民の自主的活動により、生活環境の向上、親睦等をはかり、相互発展を期するの目的とした。

役員は次のとおり。
 会長 桜庭三郎
 副会長 鈴木与三郎、安田仁
 会計 児玉幸男

新しい青少協委員

▽京谷仁太郎(議会議長)▽藤原慶一郎(教育委員長)▽藤原寛一(公民館長)▽柴田鉄三(天王巡査部長派出所長)▽神谷正二(天王中学校長)▽石橋作四郎(天王小同)▽井川久一(出戸小同)▽京極浩(東湖小同)▽相沢敬二郎(追分小同)

各分館の役員

【追分分館】▽分館長 中田兼太郎(再)▽副分館長 鎌田鉄雄(新)▽主事 藤井秀雄(新)▽出戸分館】▽分館長 加賀木金太郎(新)▽副分館長 伊藤谷昇(新)▽主事 佐々木松雄(新)【二田分館】▽分館長 伊藤邦夫(再)▽副分館長 伊藤武一郎(新)▽主事 鈴木正克(新)【天王本郷分館】▽分館長 児玉兼蔵(新)▽主事 保坂広治郎(新)、柏崎イツ子(新)、戸田勝也(新)

養鶏組合の役員

町養鶏組合はこのほど仮場会議室で総会を開き、新役員、事業計画を次のとおり決めた。
 【新役員】▽組合長 桜庭梅之助(再)▽副組合長 石黒俊蔵(再)▽会計 菅生清(再)▽事業計画

◎防疫対策◎環境衛生◎共販体制の確立◎鶏糞対策を重点的に行なうことを決めた。

善意ありがとう

天王町連合婦人会(会長 渡部ツナ)は、このほど町社会福祉協議会へ「会費の一部」千七百十五円を寄せられた。

